

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公表番号】特表2004-528089(P2004-528089A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2002-580977(P2002-580977)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 L 27/00

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 29/00

【F I】

A 6 1 L 27/00 V

A 6 1 L 27/00 C

A 6 1 L 27/00 G

A 6 1 L 27/00 Q

A 6 1 L 27/00 Z

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 37/32

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月19日(2003.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織操作および/または外科手順において使用するための、表面を含むビヒクルであって、メラニン細胞刺激ホルモン(MSH)レセプタリガンドが、該表面に固定されることを特徴とする、ビヒクル。

【請求項2】

前記表面が、細胞キャリア表面である、請求項1に記載のビヒクル。

【請求項3】

前記ビヒクルが、人工器官、移植植物、マトリクス、ステント、ガーゼ、包帯、プラスチック、生分解性マトリクス、またはポリマーフィルムである、請求項1または2に記載のビヒクル。

【請求項4】

前記MSHレセプタリガンドが、MSH、またはその機能性フラグメントである、請求項1~3のいずれか1項に記載のビヒクル。

【請求項5】

前記レセプタリガンドが、MSHの構造改変体を含むペプチドであり、そしてMSHレセプター結合機能を有する、請求項1~3のいずれか1項に記載のビヒクル。

【請求項6】

前記 MSH レセプターリガンドが、タンパク分解性切断によって放出される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 7】

MSH レセプターリガンドに対して近位のタンパク分解性切断部位を含む、請求項 6 に記載のビヒクル。

【請求項 8】

MSH レセプターリガンドが、リンカーによってビヒクルに連結されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 9】

前記リンカーが、ポリエチレングリコール (PEG) リンカーである、請求項 8 に記載のビヒクル。

【請求項 10】

MSH レセプターリガンドと結合し、MSH レセプターリガンドにカップリングまたは連結するカリックスアーレンをさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 11】

プラズマ処理された表面をさらに含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 12】

急性炎症性上皮障害または慢性炎症性上皮障害の処置において使用するための、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 13】

MSH レセプター結合リガンドを、上皮表面に送達するために使用するための、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 14】

前記細胞キャリア表面が、ケラチノサイト；メラノサイト、皮膚上皮細胞、気管支上皮細胞、膀胱上皮細胞、角膜上皮細胞、内皮細胞、線維芽細胞、平滑筋細胞、単球、胃腸粘膜上皮細胞および口腔粘膜上皮細胞のいずれかまたはこれらの組み合わせに対する使用に適切である、請求項 2 ~ 13 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 15】

軟骨修復；骨修復；筋肉修復；神経修復；結合組織修復；血管修復；膀胱修復における使用のための、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 16】

前記ビヒクルが、美容術の組織操作を必要とする患者に塗布および／または移植するために適合される、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 17】

前記ビヒクルが、治療的な組織操作を必要とする患者に塗布および／または移植するために適合される、請求項 1 ~ 16 のいずれか 1 項に記載のビヒクル。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載のビヒクルを形成する方法であって、以下の工程：

i ) リンカーを介して、MSH ペプチドを表面にカップリングする工程；  
i i ) MSH ペプチドを、カリックスアーレンまたはカリックスアーレン処理した表面に結合する工程；  
i i i ) MSH ペプチドをプラズマ処理した表面に固定化する工程；  
の 1 つ、またはこれらの工程の組み合わせを包含する、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載のビヒクルを形成する方法。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の方法であって、工程 (i) が、以下の工程；  
i ) 結合剤および MSH レセプターリガンドを提供する、工程；

i i ) M S H レセプターリガンドと該結合剤とが結合するのに適切な条件を提供する工程；および

i i i ) 該結合された分子を、処理されるべき細胞表面に接触させる工程の1つ、またはこれらの工程の組み合わせをさらに包含する、請求項18に記載の方法。

**【請求項20】**

前記リンカーが、ポリエチレングリコール(PEG)を含む、請求項18または19に記載の方法。

**【請求項21】**

細胞培養表面を調製する方法であって、以下：

i ) 少なくとも1つの有機モノマーを提供する、工程；

i i ) 該有機モノマーのプラズマを作製する、工程；および

i i i ) M S H が結合し得る細胞培養表面を提供するために、該プラズマで該表面をコートィングする、工程  
を包含する、方法。

**【請求項22】**

前記有機モノマーが、アリルアミン、ブチルアミン、ヘプチルアミンまたはプロピルアミンのようなアミンである、請求項21に記載の方法。

**【請求項23】**

治療的手術または美容的手術を必要とする患者に、請求項1～17のいずれか1項に記載のビヒクルを投与する工程を包含する、処置の方法。